

全日本オリエンテーリング実行委員会 活動報告

2022年6月7日

全日本オリエンテーリング大会実行委員会

現在の全日本オリエンテーリング実行委員会の活動内容を報告いたします。

本資料は6月5日の日本オリエンテーリング協会理事会にて報告した内容の抜粋版になります。

(1) 組織情報

委員会名	全日本オリエンテーリング大会実行委員会（以下、全日本委員会）
委員長	糸早穂（2021年1月3日-）
委員	瀬川出、木村佳司、稲葉英雄、落合公也、石澤俊崇、寺嶋一樹 山川克則、西村徳真、宮西優太郎、坂野翔哉（委員長含め全11名）
ミッション	全日本大会（フットO・ミドル・ロング種目）の継続開催・実行体

(2) 設立の経緯

全日本大会 経緯 （全日本委員 会設立前）	<p>1975年（第1回）～1977年（第3回）JOA直轄体制</p> <p>1978年（第4回）～2016年（第43回） 県協会持ち回り体制</p> <p>⇒後半には県協会の負担増による持ち回り体制継続が困難になり返上が相次ぐ。ブロック全体で協働なども見られ、苦勞して開催いただいた例もある。</p>
全日本大会 経緯 （全日本委員 会設立後）	<p>2017年（第44回）～2020年（第47回） プロデューサー体制</p> <p>⇒WGでの議論の末、持ち回り制をやめプロデューサー制とした。質の回復は達成されたがプロデューサー1名の開催負担（開催責任・会計負担）が大きい中、日本を代表する大会として価値を維持し、全日本大会をより良い大会とすることは困難であった。</p> <p>しかし、プロデューサー経験のある2名から、全日本大会開催のノウハウをJOA内部で将来的に継承していける体制を構築できるよう、スピード感ある改革を行うために事業者が全日本委員として参画しJOA内部で切磋琢磨することにより確固たる質やブランド間の構築という体制作りを協力したいという提案を頂いた。</p> <p>2021年～ JOAとしてミドル・ロング競技の実行委員会（JOA直轄事業）体制に変更</p> <p>⇒前プロデューサー2名からの提案を受け、JOA理事である宮川（糸）が委員長となり、個人事業主としてオリエンテーリング界を支えている4名（前プロデューサー2名を含む）に全日本委員会に参画頂き組織改編を行った。ただし同時に、事業主がJOAの委員会委員となるにあたり、健全な組織運営が進められるよう、ガバナンスコードに照らし合わせ、スポーツ庁より派遣されたガバナンスコード推進弁護士、顧問弁護士の意見も頂戴した上で、理事会で議論を進め2020年9月にJOA倫理規定の改定を行った。</p> <p>また、運営者として開催する県協会からの募集を募り、JOA・県協会・事業者一体となり運営を実施していくこととした。</p> <p>※現時点ではスプリントはスプリント委員会直下、リレーは県協会持ち回り制を維持／全日本リレーWGにて管理。ただし、連携を取り今後全日本委員会で4種目の大会を管理する下準備を行う移行期間と捉えている。</p>

(3) 全日本委員会方針

ビジョン	<p>「Life Long Sports, Life Long Orienteering」</p> <ul style="list-style-type: none">- 子どもからお年寄りまで楽しめるオリエンテーリング大会- 日本で最もオリエンテーリングが速い選手を決める大会 <p>生涯スポーツであるオリエンテーリングを全世代が全日本大会を通じて競い楽しむ大会であると同時に、選手権大会としての格式の高さを再構成し日本一を決めるにふさわしい大会の開催・今後継続可能な大会開催形態の構築を目指していく。</p>
------	---

(4) 大会実施

全日本大会 (ミドルロング) 実施計画	<p>開催済 2021年10月23-24日 長野県長和町「ブランシュたかやま」 参加者数1,440名</p> <p>2022年10月8-9日 山梨県鳴沢村「富士天神山」</p> <p>実行委員会を3月24日より立ち上げ。7月上旬エントリー開始予定。</p> <p>2023年 都道府県協会1会員と連携し、開催を調整中(渉外実施中)</p> <p>2024年 開催可能なトレインの情報をいただき、下見実施予定。</p> <p>下見実施後、大会開催が可能な状況であれば該当会員へ正式打診の予定。</p>
---------------------------	--

(5) 出場資格整備のための各種ランキング制度の実施

日本ランキング(フォレスト)	<p>2020年10月 日本ランキング開始</p> <p>対象者: 対象大会の男女最上位クラス出場者</p> <p>対象大会: 全日本大会(ミドル・ロング)、学生選手権大会(ミドル・ロング)、公認大会(ミドル・ロング)、日本ランキング対象大会(全日本委員会が指定する)</p> <p>※ランキング順位付けは競技登録者に対して行う</p>
日本ランキング(スプリント)	<p>2022年5月 日本ランキング(スプリント)開始</p> <p>対象者: 対象大会の男女最上位クラス出場者</p> <p>対象大会: 全日本大会(スプリント)、学生選手権大会(スプリント)、公認大会(スプリント)、日本ランキング対象大会(全日本委員会・スプリント委員会が共同で検討し指定する)</p> <p>※ランキング順位付けは競技登録者に対して行う</p>
年齢別ランキング	<p>2022年4月新年齢別ランキング開始</p> <p>対象大会: 全日本大会(ミドル・ロング)、学生選手権(ミドル・ロング)、公認大会、日本ランキング対象大会(全日本委員会が指定する)</p> <p>対象クラス: 上記Eクラス及びAクラス全て</p> <p>※スプリント競技は年齢別ランキングの対象外</p> <p>※ランキング順位付けは競技登録者に対して行う</p>

(6) 全日本委員会中期計画中間報告

	別紙「 【資料1】全日本委員会中期計画中間報告 」にて説明
--	--------------------------------------

(7) 各会員の皆様へのお願い

	<p>・全日本(ミドル・ロング)使用可能トレイン情報提供のお願い</p> <p>現在、全日本委員会では今後も継続的に全日本大会を開催するべく、全日本大会で使用可能なトレインの情報を収集しております。下記の条件に当てはまる開催地の情報がございましたら、是非下記までご連絡をいただけますと幸いです。</p> <p>連絡先: ajoc@orienteering.or.jp (担当: 桑)</p>
--	---

<理想とするトレインの条件>

- ① 広さ：約 420ha 程度（2 種目開催を前提とする）
- ② 会場：トレインに隣接し、各種設備が揃っている（駐車場・トイレ・電源設備）
- ③ 新規性：完全新規トレインまたは数年単位で使用されていない

※地図作成は本大会の開催費用にて事業者が実施いたします。開催後の地図管理は会員様とご相談の上、会員様にて管理いただくことをお願いさせていただいております。会員様にて管理いただく場合、全日本大会後の大会・練習会開催等に使用いただくことは妨げません。

※各会員様の状況に合わせて、可能な限り大会運営のお手伝いをお願いしております。

※渉外は各会員様と連携しながら、渉外同行等も実施しております。

※お申し出を複数いただいた場合は、各会員様とご相談の上、年度の調整等を全日本委員会にて実施いたします。

・全日本委員の募集について

“日本オリエンテーリング界のプロ集団”と共に、全日本大会と一緒に継続的に支えていく方を募集しています。広い世代に向けて全日本大会をより楽しく、魅力ある大会にすることで、オリエンテーリングの可能性を広げていきませんか？

下記のうち1つでも当てはまる場合はぜひ一度ご連絡ください！

- ・全日本大会のブランディング・マーケティングをチームで考えてみたい方
- ・ランキング対象大会の選定等、主体的に動いていただける方
- ・事業者指導のもと、財務管理、地元の方との渉外等、大会運営における重要かつ特殊な業務を身に着け、将来的に全日本大会にて担当していただける方

連絡先：[ajoc@\[orienteering.or.jp\]](mailto:ajoc@[orienteering.or.jp])（担当：糸）

※現在はフット O の全日本ミドル・ロングの企画管理、日本ランキングの運営を主に行っています。今後変更となる場合があります。

※希望する活動内容についてヒアリングさせていただき、全日本委員会内での承認後、JOA 理事会での承認が必要となります。

※ご自身のお仕事や学業の都合に合わせて、可能な範囲でのコミットをお願いしています。互いにメンバーを尊重し合い、共に切磋琢磨し共創していく方を募集しています。